

<令和4年度3学期 始業式>

皆さん、おはようございます。新年あけましておめでとうございます。

令和5年、2023年がスタートしました。皆さんは年頭の誓いを立てましたか？今年はこのことにチャレンジしようと心に決めたことはありますか？私もささやかですが、今年目標を立てました。目標を実現させるためにはどうすればよいかを考えていたとき、1月3日の朝日新聞の記事が目にとまりました。昨年、惜しまれつつ引退したテニス界のスーパースター、ロジャー・フェデラーさんのインタビュー記事です。今日は、この記事の中から私の印象に残った「フェデラー語録」を紹介します。

○まずは4人の子どもの父としての教育方針について語った言葉。

「それぞれに多様な個性がある。より良い面を伸ばし、支えようと心がけている。何かを押しつけないようにしている。でも、もっと背中を押さないといけないかも、と思うときもある。」

「個々の性格にもよる。言われないとやらないタイプとか、自主性があるとか。大事なのは動機づけを与えることだと思う。そのためにはできるだけ多くの機会を作ってあげたい。何より、人間として良い人になることだ。皆、誠実に生きている人と一緒に過ごしたいと思うはずだ。」

○次に自身のこれまでの歩みを振り返って述べた言葉。

「夢が叶えたい目標が変わったとき、試練が必要だ。何かに挑むとき、逆境、試練は必要だ。」

「努力を続けるには、楽しむことが欠かせない。そして、打ち込むことによって楽しみを見いだせる。仕事を楽しめたら、義務的な苦痛から解放される。そうした感覚への到達は、必ずしも容易ではないけれど、『楽しむ』『打ち込む』のバランスにはいつも心を配ってきた。」

○そして、努力しても思うように結果が出ない若者たちへ、トンネルを抜け出すためのアドバイス。

「勤勉な努力は、いずれ成功に導いてくれる。そう信じることだ。もちろん、ときに人生には残酷な面もある。必ず努力が報われる訳ではない。けがでプレーができないことがある。リハビリに励んでも、体が思う通りに動かないケースもある。そんなとき、少し視野を広く持つことを勧めたい。年齢を重ねるにつれ、ハードワークを通じて学んだことはきっと生きてくる。人生の果実となることに気づく。」

「試合で負けるのはつらい。負けて、負けて、負け続ける。そんなときも、挑戦をやめてはいけない。逃げ出さずに努力を続ければ、いつか流れは変わる。僕の言葉を信じてほしい。」

この記事の中には、フェデラーと対戦し、ライバルでもあった錦織圭さんのメッセージも掲載されています。「シンプルですけど、僕の中では努力という言葉が大きい。たとえすぐに結果がついてこなくても頑張り続ける。そうしないと努力が成果として出るか出ないか、の結果発表のところまでいけないので。自分の中で全力を出して戦わない限り、スタートラインには立てないと思っています。テニスに限らず、何をやるにしても、まずは動かないと、物事が始まらない。」

年頭にあたり、皆さんには、それぞれが立てた目標に向かって果敢に挑戦して欲しいと願っています。そして、そのための努力を継続しましょう。皆さんならできると信じています。

最後に、3年生の皆さん、来たる大学入学共通テストや各大学個別入試受験に向けて、体調には十分気をつけて、第一志望合格を目指して力を尽くしてください。めでたく進路が決まった生徒は、自分を高める準備をする有意義な時間にとともに、仲間を心から応援してください。何かあったらいつでも学校を、先生方を頼ってください。現役生は受験の当日まで学力が伸びます。努力を続け、ベストを尽くしてください。「継続は力なり」「努力は裏切らない」です。私も応援しています。

以上で3学期始業式の私の話を終わります。